

### 防災訓練等に参加

**帯広地方直更支部** (支部長・長谷川徹) は2月3日に行われた音更町冬季防災訓練に参加した。音更町は従来、災害被害を受けたことがない町であったが、平成28年の台風10号災害で甚大な被害を受け、また避難者対策にも不備があったことあり、現在、防災対策に大きな力を入れている。隊友会は、本訓練において訓練参加者の移動統制、野外テント展張及び炊き出し等を支援した。北海道で冬季に災害が発生した場合、わずかのミスや遅れで子どもやお年寄りなど弱い方が犠牲になる可能性があり、しっかりと備えておくことが重要である。隊友会はいざという時のために、他の組織と共に連携して地域のために役立つよう訓練を積み重ねていきたい。

(副支部長・松浦波雄)



屋外のテントで炊き出し支援中の隊友会

### 自衛隊諸業務への支援

**神奈川県山形支部** (支部長・定本優) は2月15日、海自横須賀教育隊の第368期及び第60期練習員課程(女子)の終業式に参加した。式典には、横須賀市長代理、横須賀地方総監をはじめ各部隊長等、隊員家族等多数が列席し、国歌斉唱に続き、教育隊司令から課程修業証書が授与され、隊員らは喜びと感動に満ち溢れ大きく胸を張っていた。

午餐会の後、隊員は整列し陣容を整え、帽振れの声援を受け任地へと旅立った。

(広報部長・上林豊)



隊員が授与された修業証書

### 地域社会協力活動

**岩手県滝沢支部** (支部長・南野勇) は1月22日、長い冬休みを終えて初登校する小学生等を対象とした、交差点横断時等の安全指導と交通整理を実施した。これは、自治会・交通安全指導員等の協力により、支部として長年取り組んでいるもの。例年に比べ積雪は少ないが氷点下10度近くの厳しい寒さの中、支部の多くの会員が各地で協力して活動を行っている。

また、2月6日滝沢市立二本小学校の児童に対し八幡平リフトスキー場において、会員3名がスキー教室支援を行い、後日校長と児童らから感謝の手紙を頂いた。

(支部長)



協力して交通指導を行う会員

**愛知県豊川支部** (支部長・山田完治) は1月27日、浦都市で開催された防災セミナーに参加した。隊友会では、広報ブースを開設し各種防災訓練における隊友会の活動状況(避難所の運営要領や自然避元トイレの設置要領及び発電機などの使用方法等の普及)について説明するとともに、イメージTBN(災害時に自主防災組織の対応を考える図上訓練)の内容及び重要性について説明した。セミナー参加者からは、被災時の行動について積極的な質問があり、もしもに備えることがいかに大事かを理解してもらったと好評であった。

(広報幹事・岸本隆志)

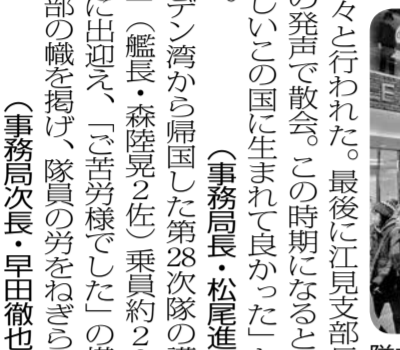


講演に熱心に聞き入る会員等

**愛知県尾張旭支部** (支部長・藤井正範) は1月20日、新春懇親会に併せて防災講演会を開催した。講師は多くの災害派遣経験があり、各地で防災講演実績のある陸自OBに依頼した。講演会には自衛隊家族会・懇親会来賓の市議員も参加された。周辺危険箇所の紹介では会員宅も映って慌てる場面もあった。講演の様子は地元ケーブルテレビで放映された。また27日には、市の災害ボランティアセンター養成講座に会長以下4名が参加し、ボランティアセンター開設演習を実施した。(事務局長・中塚正典)

**長崎県佐世保支部** (支部長・江見雅博) は2月11日、市中心部で行われた「建国記念の日」奉祝会「日の丸」行進に多くの会員が参加した。今年で52回目。市内島瀬公園に、佐世保市長等多数の来賓、市民、自衛隊員、隊友会会員等約3000名が集結し、隊友会旗を先頭に行進する。最後には江見支部長の「万歳三唱」の発声で散会。この時期に見ると「四季徒然に美しいこの国に生まれて良かった」と再認識している。

(事務局長・松尾進)



隊友会旗を先頭に行進する会員

### 青森県中弘支部

**青森県中弘支部** (支部長・三上知彦) は2月11日、市内ホテルにおいて、会員31名を含む市民約120名が参加して盛大に開催された「第61回弘前市建国祭」を協賛した。第1部の式典は、開会宣言・国歌斉唱・榎原神社神楽・紀元節の歌斉唱後、三上知彦実行委員会会長が「建国祭は国民の認知度が約20%で他国に比し極めて低い、今後は思想や宗教等に拘わらず純粋に参加してもらい、その主旨を普及していきたい」と式辞で述べた。第2部は記念講演「世界に誇れる天皇制」を拝聴し、第3部はマンドリン演奏。第4部は祝賀会となった。

(事務局長・永井達雄)



支部長から上町商店会会長へ国旗贈呈

**山形県鶴岡・田川支部** (支部長・國分龍三) は2月11日、鶴岡市在任神社参集殿で行われた建国記念奉祝式典に会員17名が参加した。奉納舞の後、奉祝委員である國分支部長から上町商店会会長に記念品として国旗10本が渡された。上町商店会は、全国で祝日に国旗を掲揚する商店街の一つとなっている。また、今回、「戊辰戦争50年西郷どんと菅野」と題した記念講演が行われた。講演は、菅野秀翁の玄孫である菅野先生をお迎えして行われ、盛会のうちに建国記念奉祝行事を終えることができた。

(事務局長・高橋俊朗)



支部長から上町商店会会長へ国旗贈呈

**埼玉県秩父支部** (支部長・根岸昭夫) は「建国記念の日」2月11日、秩父市長斎藤の賛同で、市内の共催により「建国奉祝祭」を開催した。当日は隊友会会長、代行会長をはじめ県内外各支部会員、長瀬町長・町議、自衛隊家族会、長瀬町民など約1300名の参加を得た。講演では、皇學館大学教授松本正氏が、日本書紀「神武天皇紀」の「詔勅」を解説し、「神武天皇が大和を統一して日本のあるべき姿を整えてゆく過程について紹介された。最後に、代々受け継がれてきた天皇のあり方を理解して憲法改正論議を進める必要性について述べられた。その後、御本殿にて「建国奉祝祭」祭典が斎行され、参列者は声高らかに「君が代」、「紀元節」を斉唱し、最後に講師主催のもと「天皇陛下万歳」を三唱して祭典を終了し、祝賀に入った。

(県事務局長・大首師忠夫)



松本講師による奉祝記念講演

### 鹿兒島県国分支部

**鹿兒島県国分支部** (支部長・川井田誠) は2月11日、霧島市国分で行われた「建国記念の日」祝賀行事に支部長など40名が参加した。祝賀行事は街頭パレードと記念式典に分かれ、パレードでは第12普通科連隊音楽隊を先頭に、国旗・霧島市旗・隊友会旗・支部の旗をそれぞれが掲げ、市議会議員・市職員・一般市民は日の丸の小旗を振りながら市街地を堂々と行進した。その後、厳粛に記念式典が執り行われ、天孫降臨神話の里、ここ霧島市でこのような祝賀行事が盛大に開催されたことは誠に意義深いものがあり、また「建国を偲び、国を愛する心を養う」として定められた記念日ですが、本日に日本に生まれて良かったと誇りに思う1日でした。

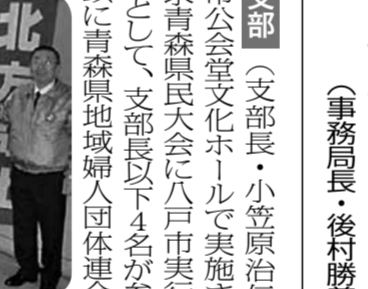
(事務局長・後村勝義)



支部旗を掲げ堂々と行進する会員

**青森県三八地域支部** (支部長・小笠原治) は1月10日、八戸市公会堂文化ホールで実施された北方領土返還要求青森県民大会に八戸市実行委員会構成団体の一つとして、支部以下4名が参加した。支部長を先頭に青森県地域婦人団体連合会のキャラバン隊とともに登壇し、婦人団体連合会代表が江崎内閣府特命担当大臣(沖繩及び北方対策担当)のメッセージを代読した。続いて記念講演が行われ、非常に難しい領土問題ではあるが、色々な立場の人の意見を聞き貴重な一日となった。1月13日、市内の会館において30名が参加した年度2回目の理事役・監事役・地区長会を実施した。支部長が会費・運営状況、隊員家族会確認訓練と中央協定等について説明した。

(事務局長・柳部裕行)



青森県地域婦人団体連合会と記念写真

### 親睦会等

**山形県東根支部** (支部長・日下部彰) は1月28日、東根・村山・北村山3支部合同による「新年を祝う会」を実施した。会には来賓を含む40名の会員が参加。今年は、東根支部会費が所属するJXバンド(愛好家グループ)を招き、生演奏を楽しみながらの開催となった。最初に、バンド演奏により国歌を斉唱し、来賓の島海神町駐屯地司令及び野川県議会議員から祝辞を頂き、高橋県隊友会長の発声による乾杯で開宴となった。祝賀では、昨年の駐屯地各部隊の活躍や新年に向かっの抱負などお話し合いのうちに懇談が交わされた。懇談の合間に、バンドの演奏、バンドをバックにした会員による歌謡及び全員での自衛隊選定歌「この国は」を合唱するなど、会場が盛り上がり、時間が過ぎるのを惜しみながら終宴を迎えた。

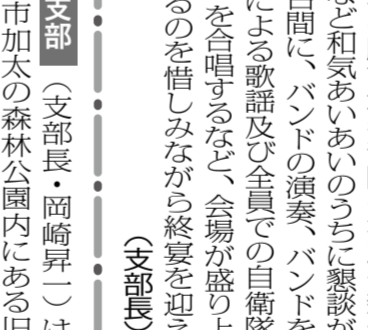
(支部長)



JXバンドを招いての「新年を祝う会」

**和歌山県和歌山支部** (支部長・岡崎昇一) は1月26日、和歌山市加太の森林公園内にある旧深山要塞重砲兵連隊陸軍墓地に桜の苗木を植樹した。作業には会員16名をはじめ和歌山地本、和歌山市議会議員ら計26名が参加し、8本の苗木を植えた。深山地区は大阪湾防衛の目的で、大日本帝国陸軍の要塞であった。同墓地は近年放置され荒れたままとなっていたが、有志者が清掃奉仕を続け、昨年5月には慰霊祭が営まれた。作業終了後は参加者全員で参拝し、御霊の安らかなることを祈念。支部は今後も春と秋の年2回清掃活動に協力、桜の苗木の植樹も逐次行う予定である。

(副会長兼広報担当・高崎正紀)



桜の植樹を記念して集合写真

**福岡県久留米支部** (支部長・黒木忠夫) は2月22日、久留米市山川招魂社において斎行された「爆弾三勇士の御霊に対する慰霊祭」の準備・受付・後片付けを支部以下6名が支援した。上海事変勃発により24旅団18工兵大隊が久留米の地から派遣され、三勇士が突撃路を開けるため、破壊筒を抱いて堅固な上海守備隊陣地に突入し、壮烈な犠牲を遂げた2月22日に慰霊祭が行われ、市民の他、久留米・前川原・小部駐屯地の部隊指揮官など12名と久留米支部から11名が参加した。また前日、慰霊祭に備え久留米支部会員17名が参加し、山川招魂社境内の清掃奉仕活動を実施した。(支部長)



慰霊祭の様子

### 岩手県岩手支部

**岩手県岩手支部八幡平分會** (分會長・上林正) は1月20日、八幡平市「いこいの村岩手」において、毎年恒例の隊友会八幡平分會新年交歓会を開催した。交歓会には、田村正彦八幡平市長をはじめ、地元県議員、市議員及び八幡平市消防団員、八幡平市自衛隊協力会のメンバー、隊員の第9特科連隊情報中隊の隊員を含め、総勢40名の参加を得た。田村市長からは「自衛隊は市として頼りになる存在」との祝辞をいただき、また、参加者全員の紹介も行われ、官民一体となり和気あいあいとした親睦を深めた。

(分會事務局長・瀬川正雄)



新年交歓会の様子

**宮城県名取支部** (支部長・片岡忠) は1月28日、名取が丘集会所で市内在住現職自衛官5名と会員11名が出席して交流会を実施した。今回は宮城地本勤務の現職自衛官が多く参加したこともあり、楽しい雰囲気や自衛官の俸給等について意見が交わられるとともに、戦後最大の安全保障上の危機と言われる最近の国際情勢に関する認識やそれに伴う第一線部隊の様子と大きな改革が実施されている自衛隊の状況等についての意見交換も行われた。

(副支部長・石村良治)



乾杯で交流会開始

**山形県山形支部** (支部長・石澤政光) は1月28日、山形市自衛隊家族会合同で毎年恒例の「防衛講演会・ボウリング大会及び意見交換会」を開催した。本催事は、県隊友会、地本援護課及び支部特別会員を含み総勢20名の参加を得て実施。防衛講話では20番連3中隊長(田中一尉)による「最近の安全保障問題と自衛隊の役割」を聴講し、防衛意識を新たにするとともに今後の活動の資を得ることができた。また、これに先立つボウリング大会も和気あいあいとし、最後の意見交換会では、参加者が車座となり大いに語り合い、かつ隊友会の歌を合唱する等、大盛況の中終了した。今年も和気あいあいとした新年会も開催して活動していく。

(副支部長・西村彰雄)



参加者全員で記念写真、右端が講師の20番連3中隊長

**埼玉県大宮支部** (支部長・大首師忠夫) は1月28日、市内のラフォーレ清水園において「新年の集い」を開催した。最初に支部長から、昨年の大宮隊友会創立50周年記念行事としての講演会・海自研修・郷土研修・親睦旅行等盛り沢山の成果、朝霞・大宮駐屯地業務隊との家族支援に関する地域協定に基づき安否確認の支援要望隊員13名に対し11名の会員が快く受けた件等に関する挨拶があった。その後、大宮駐屯地を代表して第32普通科連隊長・横山裕之氏から祝辞を頂いた。続いて、清水志摩子氏から祝辞を頂いた。続いて、大宮自衛隊隊員協会の大宮支部会長の池田町子氏に乾杯の発声頂き祝賀となった。来賓各位との賀詞交換が行われる等、年頭に相応しい「新年の集い」となった。なお参加者の最高年齢は92歳の大草会員であった。(事務局長・石原次男)



記念写真